

## 平成27年度 北海道地方非常通信訓練の実施結果

### 1 訓練の目的

本訓練は、災害想定の下で実践的な訓練を行うとにより、平常時使用している通信手段が使用できない状況下における大規模災害等を踏まえた非常通信ルートの検証を行うと同時に、関係機関との連携を図り、訓練参加者の非常通信に関する認識の向上を図る。

#### (1) 北海道と被災想定市町村間の訓練

ア 非常通信必携（平成27年5月改訂 北海道地方非常通信協議会発行）に掲載されている「地方通信ルート策定のための指針」に基づく、北海道と市町村間の通信ルート（以下「地方通信ルート」という。）の策定又は検証。（北通陸第178号H25.8.22により「非常通信ルートの見直し」を行ったルートを含む。）

イ 大規模災害により全ての地方通信ルートが破損等のために使用不可である状況下を想定した、非常通信の確保の方法の検討。

ウ 複数の市町村が訓練に連携参加することによる市町村同士の通信ルートの検討。

#### (2) 被災想定市町村と地域防災計画で指定されている避難場所等との訓練

必要に応じて、市町村防災行政無線や当該市町村内に存在する自営系無線、コミュニティ放送、IP告知システム等を活用した、被災想定市町村と避難場所等の間における通信ルートの策定又は検証。

#### (3) 大規模災害等を踏まえた訓練

平時での想定を超える広域・大規模災害への対応力向上等に向け、非常用電源の確保や広域・大規模災害に対応できる通信ルートの柔軟な多ルート化等を可能な限り訓練内容に取り込む。また、衛星携帯電話や衛星回線等の災害に強い一定の通信ルートの確保を図り非常通信に活用すること。なお、訓練の被害想定は昨今の災害を踏まえ策定すること。

### 2 実施日時

平成28年3月1日(火) 13時00分～（訓練終了時刻：14時02分）

### 3 参加機関(12機関)

北海道（本庁、日高振興局）、日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町

### 4 災害想定

平成28年3月1日(火)13時05分頃、新ひだか町を震源とする直下型地震が発生し、日高振興局管内で震度7を観測。管内全域では、住宅崩壊の他に多数の地区において土砂災害が発生して住民が避難を開始した。

### 5 訓練の条件

(1) 電気通信事業者が提供する通信設備は、輻輳等のため使用不可能。ただし、衛星携帯電話、自営系無線（市町村防災行政無線、消防無線等）は使用可能とする。

- (2) 被災想定市町村にある北海道防災行政無線及び北海道総合行政情報ネットワークの地上系回線は、破損等のため使用不可能。
- (3) その他の通常使用している通信ルートは、通信の途絶又は輻輳の発生のため使用不可能。あるいは、非常通信ルートは全て破損等のため使用不可の場合も想定。
- (4) (1)～(3)を考慮し、訓練参加機関において、非常通信ルートの使用、または、非常通信ルートが使えない場合を想定した地域の実情に応じた臨時のルート（国等の公的機関の通信網の利用、電気通信事業者からの衛星電話の貸与等）により実施する。

## 6 訓練の実施ルート（方法）

別紙のとおり

## 7 訓練報告関係

本訓練は、2月29日（月）に大型低気圧が北海道へ接近し、十勝・釧路地方で暴風・大雪警報が発令されたため、訓練を中止しました。

以 上